

七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校
No. 20
平成23年 8月 1日

インターンシップ

7月20日(水)~22日(金)の3日間、本校の特色ある教育活動の一つである、インターンシップ(職場体験学習)が行われました。

1年生は七ヶ宿町内、2年生は白石管内、3年生はそれぞれの希望進路に応じた職場で、勤務している方からの指導を受けながら、就業体験をしました。

就業場所は、旬の市、道の駅、いこいの里、ニチレイフーズ、ヨークベニマル白石店など16ヶ所です。それぞれの職場で、生徒達は仕事をする事の厳しさや大切さ、それに喜びをそれぞれに感じとったと思います。

7月25日(月)には、事後指導を行い、自分が感じたことを作文に書きました。

《山家 直人 1年 福岡中 『水守の郷七ヶ宿』で実習、二日目に石巻でボランティア活動に参加》

僕は、水守の郷七ヶ宿に行きました。一日目は、最初に NPO 活動の内容についての説明を聞きました。次に掃除をして、それからボランティアに来る人達の保健カードを作りました。午後からは NPO 活動のスケジュールを作りました。最後に支援物資の整理をしました。

二日目は、被災地の石巻まで行きました。午前中は、看板を立てるのに必要な杭を切る作業などをしました。お昼は仮設住宅で食べました。仮設住宅の皆さんは、とても元気で、少し驚きました。午後からは、看板立てをしました。被災地は、テレビで見るとは全く違い、すごくビックリしました。

三日目は、最初にかまどの掃除をしました。その次に旅行村で NPO の活動の打合せをし

ました。また材木などの片付けも行いました。

インターンシップの三日間で、僕は色々なことを学びました。中でも特に印象に残っていることは、石巻は震災にあつてから、もう五ヶ月も経っているのに、まだ瓦礫などがたくさん残っていたことです。とてもショックでした。これからも、被災地に関わり積極的に活動したいと思いました。

《山家 美穂 2年 円田中 『いこいの里』で実習》



私は七ヶ宿町高齢者福祉センター『いこいの里』に行きました。到着すると、担当の人から色々説明がありました。そこから、私達のインターンシップが始まりました。全体ミーティングで自己紹介をしました。それから、朝の送迎、お出迎え、お茶、健康チェック、昼食、昼寝・休息と続けました。午後からは、起床・排泄の介助、レクリエーション、お茶とおやつ、帰宅準備、帰りの送迎、掃除です。以上が三日間行った仕事の中身です。

最初は、不安と緊張で、なかなか仕事ができませんでした。二日目からは、徐々に緊張がほぐれ、担当の方に教えて貰いながら、自

分から高齢者のお世話ができるようになりました。

そこで、高齢者の方から、「ありがとう」と言われて、すごく嬉しかったです。大変でしたが、無事インターンシップを終える事ができて、本当に良かったです。

疲れましたが、お年寄りの方々がとても優しく、とても楽しく実習ができました。色々失敗もしましたが、それもいい経験だと思っています。

色々なことに自分から進んでチャレンジすると、必ず良いことがあるのだと分かりました。これからも、色々なことにチャレンジしていきたいです。

最終日、担当の方から、頑張ったご褒美にと、ジュースをいただきました。とても美味しかったです。

《福田 祐美子 3年 円田中 白石クリーニングで実習》



私は白石クリーニングに行きました。最初は出勤してきた人達に挨拶をしました。丁度、雨が降っている時でした。

それから私達は3人でシーツやガウン、ズボンなどをたたむ仕事をしました。立ったままだったので、足と肩が痛くなりました。

二日目は、枕カバーをたたむ仕事をしました。ちょっと難しかったです、少しずつ慣れていきました。着物を掛ける仕事もしました。色別に行うので、探すのが大変でした。

午前中一生懸命仕事をして、お昼を食べました。とても美味しかったです。

三日目は、ガウンやシーツなどをたたむ仕事をしました。たくさんあって大変でした。シーツをたたむのがきれいに出来て、とても嬉しかったです。ガウンをたたむのは難しかったです、段々とコツを覚え上手にできるようになりました。

長い時間の立ち仕事だし、仕事場の中が暑いので、体力が必要だと思いました。

色々なことを勉強させていただき、白石クリーニングの皆様には大変お世話になりました。

進路講話

7月26日(火)、終業式の後、進路講話を行いました。講師は、ハローワーク白石の高卒就職ジョブサポーター、原田宏先生です。先生は、今年三月に卒業した生徒の就職活動に大変尽力され、就職率100%を達成することができました。そういうこともあり、生徒は真剣に先生の講話に聞き入っていました。

現在の経済状況を分かりやすく解説された後、大震災の影響で今年の就職活動は厳しくなる、その中でどうすれば企業を選んで貰えるか、何よりも自分に適した職業を見出すことが重要であると、生徒達に熱く語り最後に、

「夢は見るものではなく、叶えるものだ」という言葉で締めくくられました。

